

三六災最高水位標

土砂に埋まった川路

天竜川総合学習館(かわらんべ)前にある三六災害時の最高水位を示す標柱。
地上から3~4mの高さまで水位が上昇したことが示されている。

当初は、旧川路駅前に源實朝八大龍王の鎮魂碑と並んで建っていたが、2002(平成14)年、治水事業が終わった折りに、石柱浸水位線が示す標高376.8m位置の現場所に移転された。



天竜川総合学習館(かわらんべ)前にある最高水位標



源實朝八大龍王の鎮魂碑

(表)

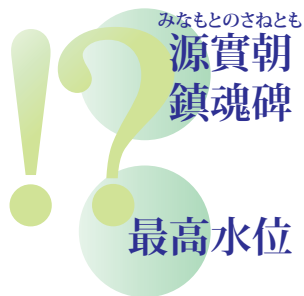
(裏)

鎮魂碑の横にある碑の裏には、旧川路駅前にあった建立当初の全景が刻んである

information

□ **アクセス**
川路駅から800m
徒歩→10分

□ **所在地**
飯田市川路
(天竜川総合学習館前)



みなもとのさねとも
**源實朝
鎮魂碑**

最高水位

「時によりすぐれば民のなげきなり 八大龍王雨やめたまへ」
1211(建暦元)年の水難の際、源實朝が悲嘆に暮れる農民の姿を見て、水を司る神の八大龍王に祈りを捧げ詠んだ和歌。現在は現川路駅前の公園に建てられている。

天竜峡の右岸にも、三六災害時の最高水位標が建っている。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)